



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月28日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5015 URL <http://www.bpcastrol.com>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小石孝之
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 渡辺克己 (TEL) 03-5719-7875
 四半期報告書提出予定日 2020年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,388	△13.0	335	△36.5	350	△34.0	236	△33.3
2019年12月期第1四半期	2,745	2.3	528	8.9	530	7.2	354	5.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期第1四半期	10.31		—					
2019年12月期第1四半期	15.45		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	12,430	10,332	83.1
2019年12月期	13,875	11,025	79.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 10,332百万円 2019年12月期 11,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	30.00	—	33.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,415	△10.2	873	△25.4	885	△25.1	602	△24.4	26.23
通期	11,432	△8.8	1,988	△21.0	2,013	△21.1	1,368	△19.4	59.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	22,975,189株	2019年12月期	22,975,189株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 1 Q	17,450株	2019年12月期	17,450株
---------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 1 Q	22,957,739株	2019年12月期 1 Q	22,957,818株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 5
(継続企業の前提に関する注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で下押しの影響が拡大しつつあります。輸出・生産・企業収益等すべて弱含み、個人消費も弱い動きにならざるを得ない状況となっています。海外経済も感染症の影響を受け、世界中で経済活動の大幅な縮小が生じております。先行きについては感染症の影響が薄らいでいくことが期待されますが、その収束までの期間が長期化する場合には景気がさらに下振れするリスクがあり、極めて不透明な状況にあります。

自動車業界におきましては、小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車から消費者からの根強い支持を集めております。新車販売台数に関しましては新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあって前年を1割程度下回り、厳しい経営環境となっております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費プレミアムエンジンオイル、トランスミッションオイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当て、環境への配慮を表す特色として「CO₂ニュートラル(※)」コンセプトも前面に出しながら、当社旗艦製品である「カストロール エッジ」、さらに「カストロール マグナテック」「カストロール トランスマックス」ブランドを中心に製品付加価値の訴求を行いました。伸長する消費者の需要に応えるべく、3月にはハイブリッド車のために開発したトランスミッションフルード「カストロール トランスマックス ハイブリッド」をコンシューマー販売網に向けて発売いたしました。また、オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できるという特長を持つエンジンシャンプーを中心としたエンジンオイル関連製品、並びにカーケア商品「カストロールプロシリーズ」の拡販にも継続して注力し、より多くの消費者との接点を築きつつ、eコマースサイトにおける弊社ロゴ入りグッズの販売を通じ、引き続きブランド価値の更なる向上にも取り組みました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,388百万円、営業利益は335百万円、経常利益は350百万円、四半期純利益は236百万円となりました。

(※) CO₂ニュートラルとは、製品から排出されるCO₂のうち自らの活動だけでは削除できない分を、温室効果ガス排出削減プロジェクトへの投資活動を通じ相殺し、大気中に排出されるCO₂を実質ゼロにする取り組みです。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、11,628百万円(前事業年度末は12,970百万円)となり、1,342百万円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金(890百万円の減少)及び短期貸付金(498百万円の減少)によるものです。(なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。)

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、801百万円(前事業年度末は904百万円)となり、102百万円減少いたしました。これは、主に投資その他の資産(116百万円の減少)によるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,080百万円(前事業年度末は2,832百万円)となり、752百万円減少いたしました。これは、主に買掛金(286百万円の減少)、未払金(243百万円の減少)及び未払法人税等(268百万円の減少)によるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、16百万円(前事業年度末は16百万円)となり、0百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、10,332百万円(前事業年度末は11,025百万円)となり、692百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により236百万円増加し、剰余金の配当により918百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年2月10日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	320,696	362,909
受取手形及び売掛金	2,422,363	1,531,709
電子記録債権	15,089	16,837
商品及び製品	687,367	632,891
原材料及び貯蔵品	25,714	36,919
前払費用	32,716	38,998
短期貸付金	9,090,751	8,592,329
未収入金	365,969	404,097
その他	10,310	12,014
流動資産合計	12,970,979	11,628,708
固定資産		
有形固定資産	222,793	236,262
無形固定資産	5,041	4,795
投資その他の資産	676,516	560,348
固定資産合計	904,351	801,406
資産合計	13,875,330	12,430,114
負債の部		
流動負債		
買掛金	903,807	617,202
未払金	949,510	705,799
未払費用	431,641	484,708
未払法人税等	392,465	123,917
預り金	11,376	100,206
賞与引当金	133,387	41,773
その他	10,631	6,726
流動負債合計	2,832,819	2,080,334
固定負債		
その他	16,993	16,993
固定負債合計	16,993	16,993
負債合計	2,849,812	2,097,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	7,780,348	7,098,821
自己株式	△6,973	△6,973
株主資本合計	11,014,325	10,332,798
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,192	△12
評価・換算差額等合計	11,192	△12
純資産合計	11,025,517	10,332,785
負債純資産合計	13,875,330	12,430,114

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	2,745,753	2,388,780
売上原価	1,417,003	1,099,027
売上総利益	1,328,750	1,289,753
販売費及び一般管理費	800,537	954,303
営業利益	528,212	335,449
営業外収益		
受取利息	2,085	2,092
受取手数料	2,841	2,961
受取補償金	944	649
為替差益	257	1,762
雑収入	10,342	7,256
営業外収益合計	16,472	14,721
営業外費用		
雑損失	14,345	—
営業外費用合計	14,345	—
経常利益	530,339	350,171
特別損失		
固定資産除却損	—	47
特別退職金	6,595	—
特別損失合計	6,595	47
税引前四半期純利益	523,744	350,124
法人税等	168,994	113,341
四半期純利益	354,749	236,782

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。